

一般社団法人佐賀県公認心理師協会

第2期 2022 年度事業報告

協会の概要

■ 協会の運営

2022 年度は、佐賀県が 2024 年度に「SAGA2024（国スポ、全障スポ）」を開催することから、地域貢献の一環としてスポーツ領域での心理支援・心理ケアの可能性を啓発する目的の事業を実施した。

研修事業は、例年通りスクールカウンセラー研修会を始めとして、児童福祉、産業組織、被害者支援の各委員会で行った（倫理研修会は年度を超えて4月に開催した）。これらの研修会は、新型コロナウイルスの感染防止に努める観点から前年度から引き続きオンライン開催を中心として行った。

子育て支援イベント“ばぶばぶフェスタ”が3年ぶりに開催されたことに伴い、急遽協力できる会員を募り、親子遊びができるスペースを出展した。

協会内部では、会員数は200名に到達し、会員の健康管理に資する目的で会員向け福利厚生事業として会員の自主的な相互交流の機会をバックアップするメンテナンスコース事業を企画実施したが会員からの反応は低調で、唯一実施した「こころの写真コンテスト」も応募者が低調だったため事業採択に至らなかった。

第2期役員の任期満了を見据え、第3期理事候補者を選任した。

■ 社会の要請への対応

前年に引き続き地域社会の要請に対応した。

- ① 学校での事故、事件への緊急支援活動について協力した。
- ② 被害者支援委員会（佐賀県 DV 総合対策センター）、産業組織委員会（県自殺対策協議会、県弁護士会：暮らしとこころの相談会）等の様々な関係機関との連携や協力に取り組んだ。

■ 研修事業

年度当初予定した研修事業計画に沿って、①基礎研修会（入会3年目までは必修、全員対象）、②委員会主催研修会（初回のみ低額の有料研修会とし、その後参加希望者の登録制による無料の情報交換会について年度を通して実施し、会員相互のサポートシステムの構築に努める）、③専門研修会の3種類の研修会を開催した。

②委員会主催研修会は、児童福祉委員会主催研修会3回と、スクールカウンセラー研修会4回を実施した。

各研修会については下記の通りである。

日時	研修会名	テーマ等	参加者数
5月15日(日) 5時間	基礎研修会(オンライン研修)	会長はじめ各委員会委員長から佐心協の活動と県内の状況について	15人
8月28日(日) 午後3時間	児童福祉委員会主催研修会①(オンライン研修)	事例検討、情報交換	8人
9月10日(土) 5時間	被害者支援研修会(オンライン研修)	「心理職が知っておきたい被害者支援の実際」 講師：山田幸子(さがセレンティククリニック)他	21人
10月15日(日) 午前2.5時間 午後2時間	スポーツ心理学研修会(集合・オンライン併用研修) 午前：会員向け研修会 午後：県民向け講演会	「メンタルトレーニングとスポーツカウンセリング」 講師：中込四郎(筑波大学名誉教授)、鈴木壯(中部学院大学)	午前：31人 午後：67人
10月23日(日) 午前2.5時間	産業組織研修会(集合研修)	「産業領域における心理支援のあり方」 講師：中島美鈴(中島心理相談所)	7人
10月30日(日) 午後3時間	児童福祉委員会主催研修会②(オンライン研修)	事例検討、情報交換	7人
2月19日(日) 午後3時間	児童福祉委員会主催研修会③(オンライン研修)	事例検討、情報交換	7人

SC研修会

回	日時	方式	テーマ等	参加者数
1	9月4日(日) 午前2.5時間	オンライン研修	「スクールカウンセリングにおけるLGBT・Q+の理解と支援」 講師：葛西真記子(鳴門教育大学)	30人
2	11月13日(日) 午前2.5時間 午後1時間	集合研修 会場：西九州大学	「学校コミュニティへの緊急支援 理論と実際」 講師：窪田由紀(九州産業大学) 地区別SC交流会	26人
3	1月29日(日) 午後2.5時間	オンライン研修	事例検討会 講師：岩宮恵子(島根大学)	30人
4	3月5日(日) 午前2.5時間	オンライン研修	「スクールカウンセリングにおけるトラウマインフォームドケア」 講師：酒井佐枝子(兵庫県こころのケアセンター)	32人

■ その他報告

1 会員数の動向

2021 年度末会員数	187 名	
2022 年度入会者	21 名	年度内最大会員数 208 名
2022 年度末会員数	196 名	退会者 9 名、会員資格喪失者 3 名

2 年次総会及び理事会に関する事項

(1) 第 4 回（2022 年度定時）年次総会

1. 日時：2022 年 6 月 12 日（日）10:00～11:15
2. 方式：Webex によるオンライン開催。審議事項に関して、採決方法はオンライン投票システム（Google フォーム）を用いて出席者に諮ることとし、事前の模擬練習を行い問題なく運用できることを確認した。
3. 出席役員数：理事 11 名、監事 2 名
4. 会員総数：197 名
5. 出席会員数：131 名（出席者 51 名、会長への委任状 80 名）
6. 議案：

第 1 号議案 2021 年度事業報告並びに同決算報告承認の件

事業報告書と決算報告書について説明がなされ、その後監査報告が行われ異議なく承認された。

報告事項

2022 年度事業計画並びに同予算について、各委員長及び事務局から説明がなされた。

(2) 理事会

① 第 2 期第 4 回理事会

1. 日時：2022 年 5 月 13 日（金）19:00～20:30
2. 方式：Webex によるオンライン開催
3. 出席理事：赤川力、伊藤紀子、岡嶋一郎、高橋幸市、徳永剛志、早瀬恵、藤瀬はるな、細川美幸、眞木理、松島淳、森永陽子
4. 出席監事：津留保生、中島由紀子
5. 議案：

第 1 号議案 2021 年度事業報告並びに収支決算案承認の件

事務局より、2021 年度事業並びに収支決算の報告がなされた。監事より、報告に相違ないとの監査報告がなされ、全会一致で承認が得られた。

第 2 号議案 第 4 回年次総会招集並びに議長選出の件

事務局より、第4回年次総会について、2022年6月12日（日）10時～12時の予定で、Webexによるオンライン開催により議決はGoogle Formを用いて投票する旨の説明がなされた。審議事項「2021年度事業報告並びに収支決算案承認の件」、並びに報告事項「2022年度事業計画並びに同収支予算報告の件」が提案され全会一致で承認された。

② 第2期第5回理事会

1. 日時：2022年10月18日（火）19：00～20：00
2. 方式：Webexによるオンライン開催。
3. 出席理事：赤川力、伊藤紀子、岡嶋一郎、高橋幸市、徳永剛志、早瀬恵、藤瀬はるな、細川美幸、眞木理、松島淳、森永陽子
4. 出席監事：津留保生、中島由紀子
5. 欠席理事・監事：藤瀬はるな、森永陽子（以上理事）
6. 議案：

第1号議案 選挙管理委員会の委員の選任の件

事務局長より、次期理事選挙を行うにあたって選挙管理委員を選任する旨を説明した。事務局より推薦のあった青山のぞみ会員、池田好恵会員、白石忠明会員について、審議の結果全会一致で承認が得られた。

報告事項として、事務局より理事選挙に関するスケジュールについて、各委員会から事業の進捗状況について説明報告がなされた。

③ 第2期第6回理事会

1. 日時：2023年3月2日（木）19：00～20：30
2. 方式：Webexによるオンライン開催
3. 出席理事：赤川力、伊藤紀子、岡嶋一郎、高橋幸市、徳永剛志、早瀬恵、細川美幸、眞木理、松島淳、森永陽子
4. 出席監事：津留保生、中島由紀子
5. 欠席理事・監事：藤瀬はるな（以上理事）
6. 審議事項：

第1号議案 第51回九州臨床心理学会佐賀大会の企画・運営について九州臨床心理学会佐賀地区との事業委託契約に関する件

事務局より、次年度の第51回九州臨床心理学会が佐賀で開催されることに伴い、前回と同じく九州臨床心理学会佐賀地区から当会に事業委託の依頼がなされていることが説明された。委託契約の内容について、質疑がなされ本件及び委託内容については全会一致で承認された。今後は実行委員会を立ち上げ準備を進めることが確認された。

第2号議案 2022年度事業報告（経過）及び2023年度事業計画の件

事務局及び各委員会より、2022年度事業報告（経過）及び2023年度事業計画について説明され、全会一致で承認された。

なお、今後倫理委員の任期について、「一期2年を限度とする」と倫理規定上しているが、倫理委員の職掌上短すぎるのではないかという意見があり、今後検討を重ね、次回理事会で審議することとした。

また2023年度事業計画内の、佐賀県（こども家庭課）からの「子どもの意見表明支援事業」の受託について、プロポーザル公募になる見通しであり当協会としても応募に向けて準備を進めることを確認した。

研修会とは別に、会員が個人スーパービジョン等を活用できるように当会内で登録制のスーパーバイザーを養成する事業にも取り組むことを確認した。

第3号議案 2023年度収支予算の件

プロポーザル公募となる見通しの「子どもの意見表明支援事業」に関しては、事業が採択された段階で補正予算により対応することを確認し、全会一致で承認された。

3 委員会活動報告

【医療保健委員会】

- ① 委員会2回開催（メール会議）
- ② 日本臨床心理士会医療領域委員会主催の全国担当者研修会（3/5 オンライン開催）へ参加した。
- ③ 医療機関マップの改訂について検討し、調査票の作成を進めた。

【学校臨床委員会】

- ① 委員会は4回開催
- ② SC研修会を4回開催した。
- ③ 県教育委員会学校教育課に訪問し諸課題について協議した。
- ④ 学校臨床 担当理事・コーディネーター全国会議へ出席した。
- ⑤ スクールカウンセラーメンター制度の利用者は7件。

【児童福祉委員会】

- ① 委員会はメールによる連絡と、研修会開催時にオンラインで開催した。
- ② 委員会主催研修会を3回（第1回8/28午後、第2回は10/30午後、第3回2/19午後）開催した。

- ③ 子育て支援イベント「ばぶばぶフェスタ」が、10/16（日）にアバンセで3年ぶりに開催されたため、会員の協力を得て親子遊びのブースを出展した。
- ④ 日本臨床心理士会児童福祉委員会が主催する全国都道府県担当者研修会にオンラインで参加した。

【被害者支援委員会】

- ① 緊急支援事業は、2022年度は依頼がなかった。
- ② 被害者支援事業は、1件（佐賀県DV総合対策支援センターへの協力）。
- ③ 被害者支援専門研修会を、9/10（日）に、オンラインで開催した。
- ④ 性暴力被害者支援事業調整会（佐賀県DV対策支援センター：アバンセ）が、7/14（火）に開催され、参加した。
- ⑤ 佐賀県警察本部のVS協議会は、6/2（木）に開催され参加した。
- ⑥ 佐賀県警察本部のカウンセリング等研究会は、2/2（木）に開催され参加した。
- ⑦ 日本臨床心理士会被害者支援委員会の主催する全国都道府県担当者研修会が、3/18（日）にオンラインで開催され参加した。

【産業組織委員会】

- ① 委員会は随時メール連絡で行った。
- ② 産業組織専門研修会を、10/23（土）に西九州大学で開催した。
- ③ 日本臨床心理士会産業労働委員会が主催する全国都道府県担当者研修会が、7/24（日）にオンラインで開催されたので参加した。
- ④ 佐賀県自殺対策協議会が、1/18（金）に佐賀県庁で開催され参加した。
- ⑤ 例年開催されている「暮らしとこころの相談会」（佐賀県弁護士会）は、9/16と3/7に開催されたので両日とも心理相談を設置し協力した。

【事業広報委員会】

- ① 佐賀県が2024年度に「SAGA2024（国スポ、全障スポ）」を開催することから、地域貢献の一環としてスポーツ領域での心理支援・心理ケアの可能性を啓発する目的で「スポーツ心理学研修会」を、10/15（日）に西九州大学でオンラインを併用し、午前を会員向け、午後を一般県民向けとして開催した。
- ② 会員の健康管理に資する目的で会員向け福利厚生事業として会員の自主的な相互交流の機会をバックアップするメンテナンスコース事業を企画実施したが会員からの反応は低調で、唯一実施した「こころの写真コンテスト」も応募者が低調だったため事業採択に至らなかった。

- ③ 日本臨床心理士資格認定協会の認定する臨床心理士資格更新ポイントについて、日本臨床心理士会に対して一括申請した。また、会員からの要望に応じて研修証明書を発行した。
- ④ 会員向けニューズレター「ほっこり通信」を3月に発行した。

【倫理委員会】

- ① 委員会運営についてはメールで連絡を取り合った。
- ② 倫理違反に関する申し立てはなかった。
- ③ 倫理研修会を、準備の都合上年度を越して2023/4/9（土）に開催した。
- ④ 日本臨床心理士会倫理委員会が開催する全国都道府県倫理担当者研修会が、1/22（日）にオンラインで開催され参加した。